

戸塚文彦議員

商業振興

問 中心市街地空き店舗対策事業補助金が予算計上されているが、現在、対象事業がなく、宙に浮いているように感じられる。現状は。

答 事業実施にあたっては、昨年度からの問題点を整理し、商工会議所や駅前商店街の協力をいただきながら、応募者の確保に努め、中心市街地活性化に積極的に取り組んでいきたい。



昨年、チャレンジショップ「ふくろい街のえき」を開いた店舗(左端)

ねんりんピック静岡

問 市民へのPRが全く不足していると思うが、その啓発は。

答 広報ふくろい等でもPRに努めてきたが、今後、横断幕や懸垂幕を順次設置するなど市民への啓発に積極的に努め、おもてなし精神にあふれた楽しい大会を目指していきたい。

病院経営

問 医師の安定的確保にどのように努力されているか。

答 関係機関等へ医師の派遣を強く要請するとともに、国や県に対しても根本的な解決に向け努力してもらうようお願いしている。引き続き必要な医師が確保できるように努力していきたい。

浅田二郎議員

浅羽支所について

問 四月より組織・人員とも大幅に縮小された。これまでも支所の機能を十分に果たしていず、支所らしく機能と権限を強化すべきでは。

答 行政運営の効率化を図りつつ、地域の振興や特性に応じた施策が実施しやすい体制づくりに努めたい。



浅羽支所

臨時職員について

問 何年も臨時職員ということはあり得ない。賃金や労働条件など待遇の改善を。

答 臨時職員の任用については、合併時に勤務条件を決定した。賃金は、近隣市と比較しても特に低いものではないと判断している。

就学援助について

問 就学援助受給者が、全国平均で八人に一人だが、市は二十九人に一人と極めて少ない。誰でも受けられるよう基準の明確化、民生委員の意見の廃止、制度の周知徹底を。

答 他市の状況等も踏まえ、基準となる要領等を整備したい。民生委員の意見は、適性な認定のために真に必要な場合に、直接お聴きする。制度については一層の周知に努めたい。